

令和7～9年度 尾花沢市立尾花沢小学校新設工事

工事から版

第4号（令和8年6月）

【発行】 升川建設(株) 【河北町】
(株)新庄・鈴木・柴田組 【新庄市】 特定共同企業体
本間建設(株) 【尾花沢市】

現在は校舎棟・体育館棟の基礎工事を行っています。「基礎」は文字どおり建物の土台となる重要な部分です。鉄筋コンクリートの基礎は、建物を支えるために十分な強さを確保する必要があります。

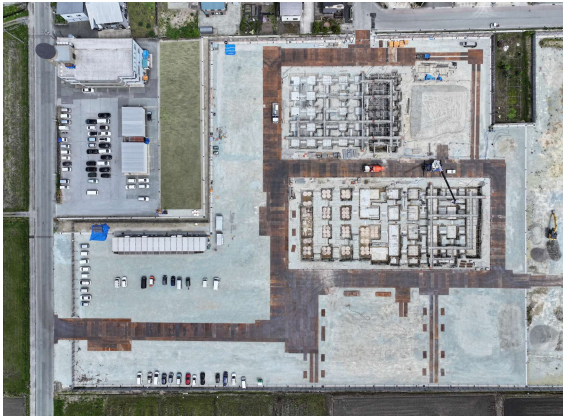


空撮による建設現場の全景（南西側から）

【撮影：令和8年5月13日】



完成後のイメージ



上空からの全景。体育館棟東側から基礎工事開始。校舎棟は掘削完了しました。
(撮影：5月13日)



体育館棟の基礎。基礎工事用の通路足場を設置しています。



体育館棟の基礎鉄筋工事。鉄筋をガスバーナーの高温で接続する、圧接作業中です。



体育館棟の基礎鉄筋工事。職人さんの匠の技できれいに接続されました。まだ鉄筋が赤く熱をもっています。



体育館棟の基礎鉄筋工事。きれいに配筋作業も行います。



体育館棟の基礎鉄筋工事。圧接箇所の不具合がないか、専門検査員が超音波を使用し確認します。



体育館棟の基礎鉄筋工事。基礎の鉄筋がきれいに組み立てられました。



体育館棟の基礎型枠工事。鉄筋作業が終わった箇所からコンクリートの容器となる型枠を組み立てます。



校舎棟の基礎工事。掘削作業も完了し東側から工事を進めます。基礎工事用の通路足場を設置しています。



クローラークレーン搬入。基礎工事で使用する材料の移動を行うクレーンをトレーラーで搬入します。



クローラークレーン部材。クレーンのアームの材料です。近くで見るととても大きいです。



クローラークレーン組み立て。クローラークレーンの腕（ラチスブーム）の組み立てをラフタークレーンで行います。



クローラークレーンの作業状況。



クローラークレーンとこのラフタークレーン（移動用エンジンを搭載し高い機動力を発揮する移動式クレーン）で材料の振り分けを行います。



東側上空から。中央が校舎側で、右側が体育館になります。左側は交流棟で6月から掘削開始です。

【撮影：令和8年5月13日】

特定建設共同企業体について

この度の尾花沢小学校の新設工事は、複数の企業が共同企業体を結成し受注しています。
今回は、私たち共同企業体の構成企業と共同企業体の制度についてご紹介します。



河北町に本社を構え創業150年を超える県内で最も長い歴史を持つ総合建設会社です。橋、ダム、堤防、学校、店舗、オフィスビル、工場、個人住宅など多岐にわたる建造物を手がけ、山形県を中心に東北地方、関東地方と幅広く営業活動を展開しています。山形県内外で数多くの実績があります。



新庄市に本社を構える総合建設会社です。「Satisfaction-満足」「Symphony-調和」「Safety-安全」の3つの「S」を基本理念とし、人・自然・文化が調和した豊かで安全な社会の創造をめざしています。土木や建築、住宅など多面的に事業展開しながら道路や河川の維持管理、除雪、災害対応など様々な場面で地域社会に貢献しています。



尾花沢市に本社を構える本間建設(株)は、建設・土木業界の第一線で活躍する街づくりのプロフェッショナルです。公共工事から住宅建築まで守備範囲は広く、様々な工事に携わっています。市内での公共施設の実績も多く、尾花沢市役所庁舎、尾花沢警察署なども手がけ、地域に貢献しています。

「共同企業体制度（JV）」とは？

共同企業体（ジョイントベンチャー、JV）とは、建設企業が単独で受注および施工を行う通常の場合とは異なり、複数の建設企業が共同で、一つの建設工事を受注、施工することを目的として形成する事業組織体のことをいいます。

共同企業体の方式の一つである「特定建設工事共同企業体」は、大規模かつ技術難度の高い工事の施工に際して、技術力などを結集することで工事の安定的な施工を確保する場合など、工事の規模や性格などに照らして、共同企業体による施工が必要と認められる場合に工事毎に結成する共同企業体をいいます。

共同企業体をつくるメリットは？

- ・大規模な工事を数多くの企業で協力して工事を行える。
- ・災害や経営不振のリスクが軽減できる。
- ・企業間の得意分野で工事ができる。
- ・資金力が上がるため大規模工事の受注力が上がる。